

# GAZZETTA DEL

ガゼッタ デル ジー エンジェルス

# G★ANGELS



止まらない得点、  
チーム好調の要因は一体？

Season  
10-11

発行元： アクセルホールディング  
フットサル通信編集部

Vol.05

## 2010.11.5 ドーマンIC戦 〈フットサルカフェ エリア〉



もう5度目の対戦となれば、お互いの特性などは分かり合っている。誰が起点となるか、誰が点をとるのか、厄介なのは誰か。しかし今回のエンジェルスはドーマンの抱くイメージよりチームが上手く機能していた。

開始早々、〈TM〉選手を起点に全員が絡んだパスワークでドーマンゴールを脅かす。普段よりもパスが回り、バランスが良い。失点もあるものの、〈TT〉選手を始めとした点を取るべき選手はもちろんのこと、守備主体の〈TS〉選手のゴールなど、どこからでも攻める幅の広い攻撃で、まずは一勝をもぎ取った。



2試合目、一時はリードを許したが決定力のある〈MK〉選手・〈TK〉選手の得点で見事逆転に成功。

3試合目、〈TK〉選手を軸に〈TY〉選手がドーマンゴールに迫り、さらにクリアポー

ルを拾いミドルレンジからシュートを放つ〈HK〉選手だが、クロスバーを直撃する。ゴールはならないものの再三攻めたて、ドーマンを苦しめた。失点はあったものの、さらに勝利を重ねていった。

4試合目、大砲〈TT〉選手の駄目押しで遂に全勝を成し遂げた。

対ドーマン戦は、この日の勝星を含めても8勝10敗2分と負け越して、圧勝できる相手ではなかったはずだ。この日のエンジェルスは何が違っていただろうか。終始、非常にバランスの良いゲームを展開していた。それは〈TM〉選手が最後尾にポジションをとることで普段は下がり気味にポジションをとる〈KI〉選手・〈TS〉選手などが自由に前へ動くことが可能になった。さらにディフェンス面でも最後尾の安心感から後ろへ引き過ぎずにポジションをとることで早いプレスで相手に前を向かせず、さらに高い位置から反撃を可能にしていた。これがエンジェルスというチームにマッチし、チームが化けた要因ではないだろうか。今回手に入れたものを今後いかにチームに浸透させ、機能する武器とすることができるか。それが「強いチーム」へと繋がる道にあるものではないだろうか。



## RECORDS

### ■チーム成績

16勝3敗4分77得点38失点

### ■個人成績

| No. | NAME | GOAL |
|-----|------|------|
| 03  | D K  | 0    |
| 03  | A I  | 0    |
| 06  | T K  | 0    |
| 07  | T S  | 3    |
| 07  | T K  | 10   |
| 08  | K I  | 1    |
| 08  | H K  | 0    |
| 09  | T Y  | 1    |
| 11  | T T  | 16   |
| 14  | T M  | 5    |
| 15  | M K  | 9    |
| 23  | H K  | 9    |
| 6-9 | K S  | 17   |
| -   | Y Y  | 5    |

## RESULTS

|       | G・ANGELS |   | D |   |
|-------|----------|---|---|---|
| GAME1 | K S X 1  | 5 | 3 | 2 |
|       | T T X 1  |   | 2 |   |
| GAME2 | T K X 1  | 6 | 3 | 4 |
|       | T S X 1  |   | 0 |   |
| GAME3 | T T X 1  | 4 | 3 | 1 |
|       | T M X 1  |   | 1 |   |
| GAME4 | K S X 1  | 2 | 2 | 1 |
|       | T T X 1  |   | 1 |   |
|       | -        | - | - | - |



ドーマンICの皆さん、楽しくゲームができました。次回を楽しみにしています。有難うございました。